

はじめての海洋IoTセンシング & カメラ・モニタリング

江崎 修央, 中井 一文, 濱口 沙織



写真1 海のIoTはこれからのポテンシャル抜群…リモートで水温が測れるだけでものすごく便利になる
IoT端末はブイや養殖筏いかになどに取り付けることになるので防水、ワイヤレス通信、独立電源などが重要

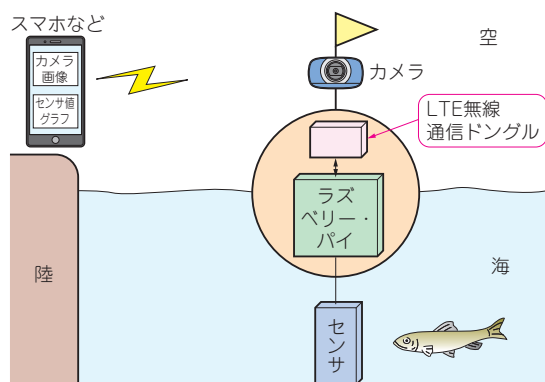


図1 リモートで海の様子をセンシング&カメラ・モニタリングするIoTに挑戦する

今回実験すること

今回は、海の状況（海況）観測に関する基本実験を行います。遠隔で海洋データのモニタリングできる装置を開発し、水温の他、塩分濃度などの値をクラウドに収集します。画像データも収集し、センサ値と合わせて閲覧可能にします。これにより、簡易的な海況データの閲覧、記録システムが構築できます（写真1、図1）。

ちょっとしたICT化でも広がる 海洋センシングの世界

水産業においてICT (Information and Communication Technology) の活用が進められ、今後、ますますの発